



石海小学校だより

校訓「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.5 令和元年7月17日
発行者：校長 久保田 昌之

いよいよ夏休みが始まります

子どもたちは、4月からさまざまな学びや行事を経験する中で、成長というステップを一步一步進めてきました。

その間、子どもたちの生活を陰になり日向になり支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、もうすぐ夏休みが始まり、毎日の生活と学びの場がご家庭となります。子どもたちが安心して楽しく充実した夏休みを過ごせるようご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

◆健康・安全を第一に

- ①交通事故②不審者③水難事故④危険な遊び
- ⑤お金のトラブル⑥ネットトラブル等

◆自主性と自立性を育てる機会に

自分で進んで実行できることやお手伝いに挑戦させ、責任をもってやり遂げる体験を。

「メダカのコタロー」合同鑑賞会

3・4年生は、環境教育の一環として、「メダカのコタロー」の鑑賞会にあすかホールまで出かけました。



当日は、悪天候だったため会場に到着した時はぐったりしていました。しかし、劇が始まると、町内の他の小学校の友だちと一緒にヒーローに変身したり、クイズに答えたりして、ステージと会場がひとつになって盛り上がりました。鑑賞を通して地域の自然環境を守ることの大切さを実感できました。

おいしかった柏餅～ふれあい教室～

ふれあい教室では、1年間を通して地域と結びついたさまざまな活動に取り組んでいます。第2回目は、柏餅作りに挑戦しました。



もちの中にあんを入れて上手に丸めていきました。蒸しがあがった熱々のかしわもちを食べた時、みんな美味しい笑顔になっていました。

事前の準備からご協力いただいた「ふれあいクラブ」の皆様、ありがとうございました。

アメリカザリガニをつかまえたよ!

2年生は、「水辺の生き物教室」に参加しました。この事業は、揖保川岩浦土地改良区、太子町産業経済課、兵庫県光都土地改良センターの皆様にご協力いただいで実施しました。



説明を聞いた後、学校の近くの岩見用水路に入って、生き物を探しました。最初は難しそうにしていたが、しだいにコツをつかんで、いろいろな種類の魚やアメリカザリガニ等を取ることができました。

その後、学校へ帰ってから採取した生き物について、太田浩二郎先生から詳しく説明をしていただきました。石海小校区の自然のすばらしさと生き物の命の大切さについても感じ取ることができました。暑い中、子どもたちと一緒に参加して下さった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

おじいちゃん、おばあちゃんとの交流

5年生は、「まほろばの里」を訪問しました。ダンス・劇・歌等の出し物を披露したり、施設のみなさんと一緒にビンゴゲームをしたりして交流を深めました。



最初、緊張していた子どもたちも、しだいに笑顔があふれ、ふれあう光景が見られました。高齢者への正しい理解が深まり、共に生きることの大切さに気づくことができました。

***** 教室の窓 *****

今年はいつになく梅雨入りが遅く、入ったと思えばいきなりの豪雨続き。九州地方では大きな被害が出ました。私たちが暮らすこの地域も、蒸し暑い毎日が続いています。

さて、1学期も終わりが近づいています。私は毎朝の挨拶を続けて2年目に入りました。おかげで自分から挨拶をしてくれるようになった子がずいぶん増えました。うれしいことです。続けていてよかったと思っています。

(文責：教頭 中農 和広)